

令和2年6月25日

陳 情 文 書 表

総務政策常任委員会

陳情番号	37	付議年月日	2 . 6 . 1 1
件名	台湾のWHO年次総会オブザーバー参加を求める意見書について陳情		
付議委員会	陳 情 者		
総務政策常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>1 陳情の要旨</p> <p>令和2年3月25日に兵庫県議会が国に提出した「台湾のWHO年次総会オブザーバー参加を求める意見書」と同趣旨の意見書を国に提出していただきたい。</p> <p>2 陳情の理由</p> <p>(1) 兵庫県議会の「台湾のWHO年次総会オブザーバー参加を求める意見書」の趣旨は妥当かつ適切であり、国が当該意見書の要望に沿った取り組みを真摯に行うために神奈川県議会においても同様の意見書を国に提出するべきであると考えため。</p> <p>(2) 日本はサンフランシスコ講和条約第2条bの規定により台湾に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄して台湾に対する領有権を放棄したが、日清戦争の下関条約により台湾が清から日本へ割譲されたように、日露戦争のポーツマス条約により南樺太がロシアから日本へ割譲されたように台湾の帰属先について同講和条約及び他のいかなる条約も定めていないので、台湾は中華人民共和国に割譲されたわけではなく、その領土ではない。台湾は実体において領土、国民、統治機構を備えた一国家である。日本は台湾を国家承認していないが、台湾を諸国際機関に係わらせることは、国際政治の安定に寄与すると考えるため。</p>			

陳情番号	39-1	付議年月日	2.6.19
件名	新型コロナウイルス感染症に係る在日米軍基地への対応についての陳情		
付議委員会	陳情者		
総務政策常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止は最重要課題となっています。そのために各方面で多大な努力がはらわれています。</p> <p>在日米軍は米軍関係者の感染者数を非公開としています。しかし、在韓米軍は基地ごとの感染状況を公表しています。4月以降、18件の感染情報を公表しており、兵士だけではなく軍属や家族、請負業者まで公表しています。6月2日付の情報によれば「米政府チャーター便で、5月30日オサン（烏山）空軍基地に着任した米兵の感染が確認された。彼はキャンプ・ハンフリーの隔離棟に隔離された」とし、感染者の属性や基地、日付、感染対策などすべてを公表しています。</p> <p>渉外知事会（渉外関係主要都道府県知事連絡協議会／会長・黒岩祐治神奈川県知事）は、5月27日「新型コロナウイルス感染症に係る感染者情報の取扱い等に関する緊急要請」として、「①在日米軍基地における新型コロナウイルス感染症の発生状況や米側の措置について、積極的に公表されるよう米側に働きかけるとともに、国の責任において情報収集に努め、適時・適切に公表すること。②在日米軍における感染防止対策の強化を求め、基地周辺に不安を与えることがないよう努めること。また、必要に応じて、米側が行う検疫など防疫措置についても支援を行うこと。③駐留軍等労働者の感染防止に万全を期すこと。」を、政府に要請しました。さらに、同知事会の「基地対策についての要望書」は、「人、動物及び植物に対する検疫並びに人の保健衛生に関して、国内法令を適用すること」と、繰り返し毎年、政府に求めています。これは、多くの県民の求めていることでもあり、今日のコロナ禍においては、緊急の課題となっています。</p> <p>以上の立場から、以下について陳情します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>神奈川県が所有している米軍関連の新型コロナウイルス感染情報を公表すること。 厚木保健福祉事務所、相模原市保健所、大和保健福祉事務所、横須賀市保健所の所有する米軍関連新型コロナウイルス感染情報の公表を求めること。</li> <li><u>米軍関連人員（軍人、軍属、それらの家族、請負業者）につき、検疫並びに人の保健衛生に関して、国内法令を適用することを政府に求めること。</u></li> <li><u>上記2の趣旨に基づき、「人、動物及び植物に対する検疫並びに人の保健衛生に関して、国内法令を適用すること」を内容とする、日米地位協定の改定を求める意見書を政府など関係当局に提出すること。</u></li> <li><u>県民の安全を守るため、神奈川県が、米軍の新型コロナウイルス感染の実態調査を実施するよう求めること。</u></li> </ol>			

陳情番号	41	付議年月日	2 . 6 . 19
件名	米軍の新型コロナウイルスの感染にかかわる陳情		
付議委員会	陳情者		
総務政策常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p><b>【陳情趣旨】</b></p> <p>日頃、県民のためにご尽力いただき感謝いたします。新日本婦人の会は、子どもや女性の幸せ、ジェンダー平等と平和を願って草の根で活動する国連NGOの女性団体です。</p> <p>在日米軍内でのコロナウイルス感染者が発生していると知り、日本国内へのウイルス持ち込みがとても心配です。日米地位協定によって、米軍関係者は、通常の入国審査がおこなわれず、国内の検疫も実施されていない中で、米軍基地や原子力空母がある横須賀の住民はかつてない不安が高まっています。</p> <p>厚労省は、2013年の日米合同委員会合意に基づき米軍の新型コロナに対する検疫実績を把握していることが明らかになりました。しかし米軍は基地ごとの感染状況を非公開にすると決めており、日本政府もこれに従っています。住民に不安がある中で公表しないのは、国民の命を守る立場の政府としておかしいことです。また沖縄県では、普天間基地で発生した泡消火剤の大規模漏出事故を原因究明と基地内の調査を求めています。神奈川県でも相模原補給しょうでの火災事故や厚木基地での漏出の記録があると報道されています。県民の安全を守るために情報公開と危険物管理を徹底するよう次のことを要望します。</p> <p><b>【陳情項目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 米軍基地内のコロナ感染の情報を把握し公表してください。</li> <li>2 米兵などの入国、検疫などについて通常の米国人同様に扱えるよう国に申し入れてください。</li> <li>3 県民の健康と安全を守るために、感染症や化学物質管理を徹底し、事故が起きた場合は、地元自治体が米軍基地を立ち入り調査などができるよう米軍に申し入れてください。</li> <li>4 日米地位協定の抜本的改定をするよう要望してください。</li> </ol>			